



筑波大学
卒業制作展
二〇二三

UNIVERSITY
OF TSUKUBA
SCHOOL OF ART
AND DESIGN /
MASTER'S
PROGRAM IN ART
DEGREE SHOW 2023

ご挨拶

令和4年度筑波大学芸術専門学群卒業制作展にご来場いただき、誠にありがとうございます。

芸術専門学群は、美術史、芸術支援、洋画、日本画、彫塑、書、版画、構成、総合造形、工芸、ビジュアルデザイン、情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザインの計14領域から構成されています。それぞれの領域が自身の特色を生かし、他領域との交流を積極的に図るなかで、芸術を様々な視点から学び、自身の見識を深めることができるのは、本学群の大きな強みです。

本展は、前期と後期の2期に分かれます。前期展では、美術史と芸術支援領域の卒業論文と、洋画、日本画、彫塑、書、版画領域の作品を展示し、後期展では、構成、総合造形、工芸、ビジュアルデザイン、情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザイン領域の作品を展示します。また、美術史と芸術支援領域は、2月10日(金)に卒業論文発表会を行います。

目まぐるしく価値観が変化していくなかで戸惑いながらも、素晴らしい先生方の存在や、豊富な資料のある恵まれた環境によって、私たちは芸術に向き合うことができました。本展出品の作品は、私たち一人ひとりが歩んだ大学生活の結晶であり、皆で切磋琢磨した軌跡でもあります。学びの集大成ともいえる作品を、ぜひゆっくりご鑑賞いただきますとともに、忌憚のないご批評をいただければ幸いです。

最後になりましたが、大変な状況であるにもかかわらず、本展開催にあたり多大なご協力を賜りました、つくば美術館の皆さま、ご指導くださいました先生方、ならびに大学関係者の皆さま、私たちを支えてくださった家族や友人、全ての方々に心より感謝を申し上げます。

令和5年2月
芸術専門学群卒業生一同

令和4年度筑波大学芸術専門学群
卒業制作展・卒業論文発表会に寄せて

筑波大学芸術専門学群は、総合大学の中に位置づけられた芸術を専門とする教育組織であり、美術史、芸術支援、洋画、日本画、彫塑、書、版画、構成、総合造形、工芸、ビジュアルデザイン、情報・プロダクトデザイン、環境デザイン、建築デザインといった14もの多彩な領域からなります。学際的・国際的な視野と確かな学力を持ち、かつ柔軟な発想力と豊かな表現力を備え、創造的活力に満ちた美術及びデザインの専門家を養成することを目的としています。

この卒業制作展・卒業研究発表会は、本学群で学んだ卒業生が4年間の集大成をひろく世に問う展覧会・発表会です。卒業生一人ひとりにとっては、これから社会で羽ばたく幕開けであり、晴れの舞台でもあります。

一昨年は新型コロナウィルス感染拡大防止のため、茨城県つくば美術館での展示は中止となりました。今年度は昨年度に続き、茨城県つくば美術館で展示できたことを喜ばしく思います。そしてコロナ禍の制限された環境にありながらも、芸術の力を信じ、真摯に自らの制作や研究に立ち向かってきた卒業生の成果に対し、豊かな創造力を感じていただくとともに、忌憚のないご批評をお願いいたします。

末筆ながら、今回の卒業制作展・卒業研究発表会の開催にあたり、ご協力いただきました茨城県つくば美術館の関係者に対し、心より御礼申し上げます。

令和5年2月
筑波大学芸術専門学群長
田中 佐代子

美術史

小島 悠太郎	シモーネ・マルティーニ《マエスタ》における政治的性格—図像と注文主に関する考察
嵯峨 未玲	J.E.ミレイ《アフタヌーン・ティー（ゴシップ）》について—ヴィクトリア朝における仮装の少女像をめぐる一
下山 雄大	ロイ・キヨオカ研究 —1970年日本万国博覧会と <i>StoneDGloves</i> における芸術実践を中心に—
正原 摂子	月岡耕漁の生涯と作品について—能画を中心に—
波村 桜子	レンブラント《三本の木》をめぐる考察—17世紀オランダの風景版画とイタリア

芸術支援

木下 碧	筑波大学芸術専門学群の初期構想とその変遷
市川 結己	書展に関連する鑑賞プログラムの一考察—対話による鑑賞の実践を通して—
江本 萌衣	香川漆芸の職人育成
小池 真莉	日本におけるチルドレンズ・ミュージアムの成立と展開
里村 亜呼	家庭内における造形活動の課題と保護者に対する支援ツールの開発
白土 恵	オープンアトリエにおけるアート活動の意義と展望 —「アートハイブ」を中心に—

洋画

伊藤 雪乃	みなと / 自画像
梶本 紫月	虚日 / 虚実 / 自画像
谷 夏実	恐るるなかれ / 一切の望みを棄てよ / 自画像
千種 風香	すさまじくうつくしきもの / 自画像
東海林 帆佳	いつかの日 / 自画像
中武 明日香	Desire / ワンダー / 自画像
西原 美萌	濁流 / 自画像
野田 将太	無題 / 自画像
増田 凜太郎	Dance! / 自画像
宮原 美奈子	Tell Me What is Right / Wisdom / 自画像

日本画

内山 優	Goodbye, spilled milk. / 自画像
加藤 来実	美しい雨 / 自画像
高橋 夏実	ショートケーキから見たわたし わたしから見たショートケーキ / 自画像
濱津 優和	廻る / 自画像
山形 彩月	生彩 / 自画像
横山 凜	秋風 / 自画像
シェバード・ジャックリン	母体 / 自画像

彫塑

- 瀬島 那月
- ことりのさえずり / ひこばえ
- 法水 千尋
- 対話 / 結

書

- 大川 愛生
- 臨 楊峴 隸書七言聯 / 臨 升色紙
/ 李白詩 塞下曲
- 大川 真輝
- 臨 趙之謙 張衡靈憲四屏 / 臨 寸松庵色紙
/ 杜甫詩 登高
- 新帯 美緒菜
- 臨 圭峯禪師碑 / 佐竹本三十六歌仙絵 中
務 模写 / 万葉集より
- 瀬戸 紅遥
- 臨 周公簋 / 臨 粘葉本和漢朗詠集
/ 隸書七言聯
- 高橋 杏奈
- 臨 何紹基 臨張遷碑 / 臨 継色紙
/ 楷書七言聯
- 田之上 菜々子
- 臨 蘭亭序 / 臨 松籟切 / 西行之歌
- 難波 智尋
- 臨 楚帛書 / 臨 針切 (重之の子の僧の集)
/ 枕草子
- 松下 茉優
- 臨 吳昌碩 行書自作詩四條屏
/ 臨 関戸本古今和歌集 / 無一日去書
- 山脇 麟神
- 臨 泰山經石峪金剛經 / 臨 和泉式部統集切
/ 大伯皇女の歌

版画

- 久野 龍之介
- 磔 / 謀略 / 自画像
- 寺田 開
- Viewpoints / 自画像

イベント

美術史領域・芸術支援領域 卒業論文発表会
2.10_{fri}
13:00開演(12:30開場)
筑波大学 5C 棟 5C406

構成

遠藤 胤紀	間隙
大久保 智子	層 2301
久々津 寿基	発光 1 / 発光 2 / 発光 3
計見 左京	Flat Black
杉田 安良	平面から展開する立体
夏目真帆	mineral

総合造形

加藤 幾也	煤時計
佐藤 美月	めたもるふぉーぜ
荒井 理子	私なんてないよ、物理現象だよ、 電気信号だよ
岡田 麻鈴	月刊あみゅバラ12月号
菰田 遥大	トカゲ3号
中村 音巴	水包み
村上 梨奈	蛹

工芸

粘 辰 遠	イージーチェア
前田 愛美	低坐椅子
藤村 美吹	迷いの回想
本田 ひなた	シロイルカの笛

ビジュアルデザイン

瀧波 謙太	背徳のエボニム
小林 明花	子育てアプリの提案
矢島 由莉子	乳幼児の日常生活をテーマにした ファーストブック 3作品
飯田 帆香	はじめてのバスケ
伊藤 夢絵	repos
井野 千聖	つまむ古文
入江 春輔	魅力的な広告による 理想の街並みの視覚化
宇根 和花奈	温和
枝廣 美槻	Packaging My Life
大山 末聖	生活を彩る花たち
小沢 遥	描く単
越智 さくら	錦花
小島 愛可	Polaris
杉浦 真菜	君を守る制服
田中 陽	TIME SHAPING KIT
多辺田 風香	drink in
山岡 一樹	SnackS

情報・プロダクトデザイン

岡島 紫穂	迷子のぼっぼさん
石崎 友香	Pack Pack
大久保 あまみ	謝罪用菓子ブランドの想定
末次 葵	マッスルビート
栃原 由喜	特撮映像&特撮ヒロインスーツ
沼野 千秋	廃棄ボトル再利用ランタンの提案
野村 柚葉	山谷みくじ
長谷川 泰斗	SPATIALIZER
吹上 風人	坂道に建つ家
吉川 海音	e-Spot

環境デザイン

鷹尾 慧剛	棚田シェアオフィス
大竹 彩乃	たちどまる路地
大野 紗英	そとばた会議物語 一外湯から広がる語らいの街一
寺澤 理歩	7つの場
山根 由咲	鎌倉人の新たな生息域 一人と自然のビオトープ

建築デザイン

蛸名 祐一	団地への招待20XX
大久保 美来	奏の輪
長井 春雅くらら	生命の種
松本 亜香里	まちを編む子どものいえ
宮里 美早	まちぐわ再編計画
吉田 実紀	nakadai apero garden 一かすみがうらの古民家再生計画一
若山 新太郎	十六番目の記憶
徐 徳天	青と水色のつむぎ

イベント

情報プロダクトデザイン / 環境デザイン / 建築デザイン
3領域合同ギャラリートーク
2.18^{sat}
14:00開演
つくば美術館

会場：茨城県つくば美術館

9:30-17:00

(入館は16:30まで)月曜休館

※12日,19日,26日,5日は～15:00(入館14:30まで)

入場無料

※新型コロナウイルス感染症の状況により、
予定が変更になる場合があります。

